

大阪社保協通信

メールアドレス: osakasha@poppy.ocn.ne.jp
http://www.osaka-syahokyo.com/index.html

第 1201 号 2019.1.25

大阪社会保障推進協議会
TEL 06-6354-8662 Fax06-6357-0846

来年度大阪府国保「統一保険料率」はおどろきの高さに ～1月11日大阪府主幹課長会議で説明、大阪社保協には 本日公開。

来年度大阪府国民健康保険標準保険料率(＝統一保険料率)は1月11日の大阪府国保主管課長会議で説明がされました。大阪社保協には本日公開され、ホームページには既にアップしています。

<http://www.osaka-syahokyo.com/16kokuken/okk20190111.pdf>

11月の仮算定と比べ、数値は若干下がったものの、大きくは変わりませんでした。

【算定結果概要 平成31年1月本算定】

	所得割	均等割	平等割	賦課限度額
医療分	8.57%	29,713円	31,799円	58万円
後期分	2.69%	9,249円	9,898円	19万円
介護分	2.58%	19,134円	0円	16万円

【参考：平成30年年度】

	所得割	均等割	平等割	賦課限度額
医療分	7.98%	27,311円	29,668円	54万円
後期分	2.69%	9,178円	9,970円	19万円
介護分	2.32%	17,062円	0円	16万円

★大阪府平均一人当統一保険料は **139,669円**、今年度より **11,775円**(激変緩和後 **135,644円・7750円**値上げ!!)

平成31年度一人あたり保険料(統一保険料率)

20190125 大阪府資料をもとに大阪社保協で加工

市町村名	平成30年度 保険料収納 必要額 A	平成31年度 保険料収納 必要額 B	B-A 値上げ額	値上率	平成31年度保険 料収納必要額 C 激変緩和額反映 後	C-A 値上げ 額	値上率
府全体平均	127,894	139,669	11,775	9.21%	135,644	7,750	6.06%
1 大阪市	123,968	135,118	11,150	8.99%	135,118	11,150	8.99%
2 堺市	120,736	133,668	12,932	10.71%	129,982	9,246	7.66%
3 岸和田市	126,406	137,164	10,758	8.51%	137,164	10,758	8.51%
4 豊中市	139,948	152,770	12,822	9.16%	140,469	521	0.37%

5	池田市	134,835	146,956	12,121	8.99%	146,956	12,121	8.99%
6	吹田市	137,003	151,643	14,640	10.69%	147,599	10,596	7.73%
7	泉大津市	124,670	136,424	11,754	9.43%	129,618	4,948	3.97%
8	高槻市	136,754	149,732	12,978	9.49%	139,013	2,259	1.65%
9	貝塚市	125,821	137,778	11,957	9.50%	125,942	121	0.10%
10	守口市	124,592	136,417	11,825	9.49%	136,417	11,825	9.49%
11	枚方市	131,003	142,494	11,491	8.77%	128,404	-2,599	-1.98%
12	茨木市	140,091	153,363	13,272	9.47%	143,571	3,480	2.48%
13	八尾市	132,906	143,373	10,467	7.88%	135,798	2,892	2.18%
14	泉佐野市	125,932	138,052	12,120	9.62%	138,052	12,120	9.62%
15	富田林市	129,001	140,666	11,665	9.04%	140,271	11,270	8.74%
16	寝屋川市	120,319	131,588	11,269	9.37%	122,252	1,933	1.61%
17	河内長野市	133,509	146,676	13,167	9.86%	146,676	13,167	9.86%
18	松原市	123,540	133,911	10,371	8.39%	133,223	9,683	7.84%
19	大東市	120,848	132,642	11,794	9.76%	129,628	8,780	7.27%
20	和泉市	131,318	143,373	12,055	9.18%	135,159	3,841	2.92%
21	箕面市	146,556	159,409	12,853	8.77%	147,606	1,050	0.72%
22	柏原市	129,522	140,795	11,273	8.70%	140,367	10,845	8.37%
23	羽曳野市	127,871	138,864	10,993	8.60%	129,550	1,679	1.31%
24	門真市	125,597	136,721	11,124	8.86%	126,266	669	0.53%
25	摂津市	136,741	149,143	12,402	9.07%	147,432	10,691	7.82%
26	高石市	124,536	136,972	12,436	9.99%	136,972	12,436	9.99%
27	藤井寺市	124,257	133,563	9,306	7.49%	133,563	9,306	7.49%
28	東大阪市	127,451	139,690	12,239	9.60%	136,730	9,279	7.28%
29	泉南市	112,417	120,750	8,333	7.41%	120,750	8,333	7.41%
30	四條畷市	128,693	140,153	11,460	8.90%	132,572	3,879	3.01%
31	交野市	138,502	151,865	13,363	9.65%	144,173	5,671	4.09%
32	島本町	144,218	155,936	11,718	8.13%	155,935	11,717	8.12%
33	豊能町	151,423	164,273	12,850	8.49%	158,391	6,968	4.60%
34	能勢町	130,622	141,513	10,891	8.34%	129,891	-731	-0.56%
35	忠岡町	124,374	134,859	10,485	8.43%	132,696	8,322	6.69%
36	熊取町	135,888	148,633	12,745	9.38%	148,633	12,745	9.38%
37	田尻町	125,529	134,414	8,885	7.08%	126,107	578	0.46%
38	阪南市	123,253	133,971	10,718	8.70%	133,971	10,718	8.70%
39	岬町	133,056	142,329	9,273	6.97%	140,434	7,378	5.55%
40	太子町	138,901	150,793	11,892	8.56%	138,791	-110	-0.08%
41	河南町	139,046	150,115	11,069	7.96%	149,666	10,620	7.64%
42	千早赤阪村	141,467	153,204	11,737	8.30%	137,704	-3,763	-2.66%
43	大阪狭山市	137,901	149,495	11,594	8.41%	142,564	4,663	3.38%

★実際の今年度保険料と比較～統一保険料がいかにか高いか!!

大阪府の出した一人当保険料はあくまで平均であり、今年度一人当保険料も実際の保険料とは異なります。実際の市町村の保険料と比較してみたのが以下の表です。モデルケースごとの保険料でみると、来年度統一保険料がいかにか高いかがよく分かります。

モデルケースごとの 2018 年度国保料と 2019 統一保険料

①現役 40 歳代夫婦と未成年の子供 2 人の 4 人世帯の国保料

②65 歳以上 74 歳以下で年金生活者高齢者夫婦のみ世帯

③40 歳母と未成年の子ども 2 人のシママ世帯

		所得 100 万			所得 200 万			所得 300 万円		
		①	②	③	①	②	③	①	②	③
2019 統一保険料		210,635	171,139	181,587	419,778	307,663	408,845	605,341	420,263	547,245
1	大阪市	186,179	155,439	166,690	380,825	287,376	379,152	556,831	399,176	517,852
2	豊中市	137,179	96,481	133,664	357,312	267,264	348,166	517,302	368,764	469,466
3	池田市	199,728	130,634	172,953	404,417	300,441	392,736	588,187	419,141	534,636
4	豊能町	187,200	121,600	162,500	371,000	275,700	364,400	533,500	373,500	483,800
5	能勢町	188,200	153,300	165,300	381,300	283,000	375,000	555,000	392,600	509,200
6	箕面市	188,362	157,615	162,962	375,292	284,015	366,712	541,112	388,515	490,312
7	高槻市	154,750	141,690	145,810	320,510	265,950	321,430	480,200	372,650	464,410
8	島本町	200,732	161,582	173,957	398,851	290,805	390,780	874,231	397,505	520,680
9	茨木市	186,238	155,962	162,133	373,269	282,033	365,814	539,924	386,633	491,714
10	吹田市	181,680	162,940	167,600	374,710	299,160	381,570	550,250	413,860	522,070
11	摂津市	184,249	118,185	158,989	367,811	269,007	358,271	530,891	367,907	480,371
12	守口市	196,892	161,582	170,117	392,707	290,805	383,100	566,551	397,505	513,000
13	門真市	187,890	154,730	163,880	382,370	289,650	372,890	557,600	405,250	509,590
14	大東市	192,400	158,900	168,400	391,600	295,000	383,200	571,000	410,700	523,100
15	四條畷市	193,330	154,350	167,360	391,150	285,850	379,870	568,630	397,450	516,670
16	寝屋川市	180,600	144,600	157,700	370,100	272,500	360,300	541,600	382,700	495,800
17	枚方市	174,900	119,400	154,000	358,200	275,200	351,500	524,000	385,300	482,400
18	交野市	191,900	156,700	166,400	386,200	286,600	376,500	559,900	395,600	508,800
19	東大阪市	196,002	127,331	171,957	399,324	293,240	391,238	582,688	410,140	534,638
20	八尾市	193,840	158,970	169,240	394,710	297,040	385,150	575,750	402,330	526,550
21	柏原市	196,890	127,796	170,115	392,701	290,805	383,100	566,551	397,505	513,000
22	松原市	205,133	136,038	178,357	413,247	311,346	403,641	599,392	430,346	545,841
23	羽曳野市	183,090	151,420	158,360	365,120	272,530	356,550	526,720	372,530	477,250
24	藤井寺市	196,890	161,579	170,115	392,701	290,805	383,100	566,551	397,505	513,000
25	大阪狭山市	181,523	119,045	156,850	362,795	271,552	353,630	523,976	372,952	474,630
26	富田林市	196,680	159,690	172,880	402,780	297,850	394,380	589,280	415,850	541,680
27	太子町	180,636	148,275	157,056	360,060	268,011	353,316	519,276	367,311	472,116

28	河南町	176,219	144,605	153,319	354,129	261,925	346,469	512,969	359,425	467,169
29	千早赤阪村	188,362	157,615	162,962	375,292	284,015	366,712	541,112	388,515	490,312
30	河内長野市	196,880	161,570	170,100	392,690	290,790	383,080	566,530	397,490	512,980
31	堺市	181,875	148,797	159,739	371,551	276,739	363,930	542,902	385,739	498,630
32	和泉市	189,753	155,393	164,613	381,285	283,069	372,093	552,273	389,769	501,993
33	高石市	197,783	129,205	171,266	396,702	295,042	386,820	574,054	406,042	521,020
34	泉大津市	196,800	127,700	169,900	392,500	290,700	383,000	566,400	397,400	512,900
35	忠岡町	196,800	161,400	169,900	392,500	290,700	383,000	566,400	397,400	512,900
36	岸和田市	197,200	128,000	170,400	393,400	291,300	383,900	567,600	398,200	514,100
37	貝塚市	196,880	161,570	170,100	392,690	290,790	383,080	566,530	397,490	512,980
38	泉佐野市	196,800	161,400	169,900	392,500	290,700	383,000	530,300	397,400	512,900
39	田尻町	182,894	121,134	159,651	370,967	277,974	362,534	540,018	386,174	493,534
40	熊取町	191,920	122,830	165,140	384,770	280,880	341,930	556,630	387,580	503,080
41	泉南市	194,400	165,900	179,800	404,300	316,300	399,100	596,200	447,100	554,900
42	阪南市	196,880	161,570	170,100	392,690	290,790	383,080	566,530	397,490	512,980
43	岬町	195,879	158,575	169,211	390,668	283,966	381,057	563,594	396,524	510,257

★来年度大阪府統一保険料は全国一高い保険料になる!!

「大阪社保協通信 1197号」にも掲載しましたが、中央社保協が行った全国大都市(政令市・中核市・県庁所在地等)の2018年度モデル保険料調査では、今年度の大阪府統一保険料が第2位でした。その表に来年度統一保険料を組みこむと、なんと第1位に躍り出ました。

2018年度大規模自治体(政令市・中核市・県庁所在地)国保料調査

世帯所得100万円 40歳代夫婦+未成年の子ども2人の4人世帯の保険料

	自治体名	保険料
	2019年度大阪府統一保険料	210,635
1	津市	201,760
	2018年度大阪府統一保険料	196,892
2	東大阪市	195,983
3	久留米市	193,138
4	函館市	192,605
5	新宿区	192,573

6	松江市	192,381
7	福井市	190,658
8	秋田市	188,352
9	大分市	187,738
10	大阪市	186,180
11	岐阜市	186,165
12	北海道・旭川市	184,708
13	奈良市	182,450
14	山口市	182,000
15	川崎市	181,032
16	堺市	180,536
17	岡山市	180,305
18	仙台市	176,979
19	倉敷市	176,820
20	福岡市	176,404
21	横浜市	175,078
22	甲府市	174,389
23	札幌市	173,775
24	盛岡市	172,100
25	北九州市	171,961

26	新潟市	167,940
27	鹿児島市	167,100
28	千葉・柏市	163,233
29	川口市	162,375
30	さいたま市	159,045
31	横須賀市	155,463
32	相模原市	154,815
33	千葉市	154,263
34	八王子市	151,630
35	豊田市	145,980
36	船橋市	144,721
37	川越市	138,765
38	名古屋市	114,392
39	越谷市	107,940

★大阪府国保課長でさえ6年後の統一できるとは言えず

確認しておかなければならないのは、大阪府「統一保険料率」は「標準保険料率」であり、厚生労働省は「標準保険料率は理想値にすぎない」としています。あくまでも、保険料を決めるのは現在もなお市町村です。

そして、昨年8月22日の「国保主管課長協議会」シンポジウムで大阪府の山本国保課長は『大阪府の場合、保険料率統一ありきという形で進めたのも事実。そもそも完全統一という形とは若干ずれている。保険料統一を進める、形とするためにまずは運営しやすい、皆さんが合意していただけるような部分を残して導入した。したがって、運営方針も33年度までという形にしたのが実情』とした。その上で、『今後、進み具合や被保険者への影響をみながら、33年度以降の運営方針で統一的なものに進むのか、もう少し遅めにやらなければならないのかといった状況になると思う』と述べています。(国保実務2018年9月3日付 下線寺内)

厚生労働省も大阪府統一国保による負担増について再三警鐘を鳴らしています。

★いますぐ市町村に確認すべきこと

今回の算定は市町村にとっても衝撃的な数字であったはずで、動揺が走っていることと思います。各地域のみなさんに呼びかけます。今すぐ、担当課と懇談し、以下を問いかけましょう。

この本計算をどう受け止めているのか

3つの今年度のインセンティブ(ごほうびとしてもらえる交付金)の見込は?

①保険者努力支援金の市町村分インセンティブ

②収納率分インセンティブ

③大阪府2号繰入金インセンティブ

⇒今年からの国保会計は「理論的」には赤字にならない仕組みです。これらインセンティブ分は黒字になるはず。これを原資として来年度国保料の引下げが可能です。

2018年度決算見込みは?

このままでは医療費増加分がそのまま保険料値上げにつながる「統一国保」でいいと考えているのか

★さあ、3月市町村議会・4月統一地方選挙において各地域で動きだしましょう!

これから各地で2月3月議会が始まります。各地域で「国保料・介護保険料引下げアクション」をどのように展開するかの相談はされましたでしょうか。選挙のあるところは議会が解散となるため、「請願」が有効です。豊中社保協はいち早く昨年の秋から行動をスタートしています。富田林社保協は要望書を提出、大阪社保協も大阪府に交渉を求めて要望書を提出しました。(各地での情報、ぜひメールでお寄せ下さい。)

さらに大阪社保協では現在国保・介護ピラを作成中です。出来るだけ早くホームページにアップしますので、地域での市民向け宣伝行動を計画してください。

2019年1月15日

大阪府知事 松井一郎 様

大阪社会保障推進協議会

会長 井上 賢二

〒530-0034 大阪社保協北区錦町 2-2

TEL06-6354-8662

osakasha@poppy.ocn.ne.jp

大阪府統一国保に対する緊急要望書

【要望の趣旨】

国保実務や国保新聞の記事によると、厚生労働省から大阪府統一国保は、「統一ありき」でつき進んできたことに対していくつもの疑問がなげかけられています。統一保険料はインセンティブを保険料に反映できないことなどにより、被保険者の負担増を招くと強く警鐘をならしています。厚生労働省は条例減免や特定健診充実のための一般会計法定外繰り入れについては全く否定していません。

被保険者にとって必要なのは、無理なく払える保険料にすることと必要な医療が必要な時に重い負担なく受けられることです。統一国保により医療費水準が加味されないことによる健診等の後退は必ず大阪府全体の医療費が膨張させることとなります。豊中市では早速、特定健診内容の大後退が起きています。また、昨年6月の北部地震、9月の台風で多くの被災者が生まれていますが、今年度統一基準にあわせてため一部損壊等が対象とならないため減免が適用されない被保険者が多く生まれています。統一減免の原資を事業費納付金(保険料)とするため、「使えない減免制度」となるのは自明の理です。

さらに、来年度標準保険料率(統一保険料率)および一人当保険料額は大幅アップであり、府民負担は計り知れません。府内市町村では、被保険者の生活も考慮せず違法行為的な差押えで収納率を上げようとしているところも増えています。

については以下を緊急要望いたしますので本日より1カ月以内の懇談を要請します。

【要望内容】

1. 大阪の国保被保険者にとって何のメリットもない「統一国保」をやめ、これまで通り、市町村の賦課権限を尊重し、様々なインセンティブを保険料引下げのために使えるようにすること。
2. 厚生労働省も懸念している大阪府の保険料負担増について大阪府として繰入を増やし、事業費納付金そのものを小さくすること。
3. 給与や年金が銀行口座に振り込まれた途端に全額差押えをするという違法行為が北河内地域の自治体を中心に横行している。大阪府としてこうした違法行為・脱法行為に対する見解を明らかにし、市町村に対し法令順守をするよう文書を発出すること。

2019年1月11日

富田林市長 多田利喜様

要望団体 富田林社会保障推進協議会

会長 荒芝 康夫

連絡先 〒584-0054

富田林市大字甘南備216番地

福保労コロニー事業団分会気付

国民健康保険料の大幅な引き下げなどを求める要望書

国民健康保険は2018年度より保険者が都道府県と市町村となりましたが、特定検診項目・保険料の決定などは今までと同様に市町村に権限があります。富田林市ではそれを踏まえ、従来より高くなる府の標準

保険料率ではなく、市独自の保険料率を算定し、保険料の引き下げを実施していただきました。加えて、独自減免や一般会計繰り入れも継続して実施していただいています。

それでも、市も言われている「高すぎる保険料」は改善されていません。

それどころか大阪府国保は大規模自治体調査でも全国2位高いことが明らかになりました。（中央社保協2018年度モデル保険料調査） 結局、「国保の広域化」は市民にとって何のメリットもなく、高すぎて払えない保険料をますます助長するものです。

以上のことから次年度に向け、下記のことを要望します。

（要望項目）

1. 国民保険料を大幅に引き下げて下さい。
2. 市民と共に作り上げてきた市独自の減免制度を維持・拡充して下さい。
3. 一般会計繰り入れを継続して下さい。